

一般社団法人大竹青年会議所

「熟慮断行」～一人一人が輝ける未来へ～



2016年度 広報誌 第一号



2016年度 理事役員紹介

理事長	向井 敏亨	今五設備 (有)
直前理事長	谷岡 正和	(株) 谷岡保険事務所
監事	田中 大介	田中建設工業 (株)
社会開発部門副理事長	入山 剛之	泉産業 (株)
人間力開発部門副理事長	藤野 広志	藤野商事 (有)
専務理事	安森 友和	三興化学工業 (株)
出向理事	小城 和之	(株) 小城材木店
社会開発委員会 委員長	小山 剛司	(有) 大竹新菱自動車
未来開拓者育成委員会 委員長	日野 浩爾	光明寺
専務理事セクレタリ	沖野 博志	(有) おきのや



【大竹青年会議所ホームページのご案内】

最新の詳しい事業活動の詳細を更新中！！

URL : <http://www.otake.jc.com/2016/>

右のQRコードをご利用ください。



facebook

【facebookでも活動情報を公開中！】

右のQRコードをご利用ください。



一般社団法人大竹青年会議所は『まち』と『ひと』を思い活動する20歳から40歳までの青年の団体です。

理事長挨拶



向井 敏亨

(むかい としゆき)

1976年5月16日生まれ
今五設備有限会社

J C 歴

- 2005年 入会
- 2006年 夢ふれあい委員会 委員
広島ブロック協議会 思いやり運動推進委員会 委員長幹事
- 2007年 専務理事セクレタリ
- 2008年 指導力開発委員会 委員長
- 2009年 広島ブロック協議会 次世代会員育成委員会 委員長
- 2010年 公益法人制度推進室 室長
- 2011年 監事
- 2012年 社会開発部門 副理事長
- 2013年 専務理事
- 2014年 監事・広島ブロック協議会 運営専務
- 2015年 人間力開発部門 副理事長
- 2016年 理事長

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

これまで大竹青年会議所は諸先輩方から受け継がれてきた本質を理解、継承し、自己の資質向上や経験のしたことがない困難に熱い想いで立ち向かいながら活動をしてまいりました。活動や事業を通じて人脈が広がり、多種多様な場面において、今の自分に負荷をかけることで自己成長へと繋がることで、青年経済人として成長できたのです。自分を信じ仲間を信じ、自分の所属している企業を発展させ、変化を恐れず少しの背伸びとほんの少しの勇気をだして一歩前進することで自らの成長が地域の成長へと繋がり、自分だけではなく周りの人と共に成長し輝いていくことが、明るく豊かな社会と人が輝ける未来へ向かうと信じて活動をしてまいります。

本年度、一般社団法人大竹青年会議所は「熟慮断行」～一人一人が輝ける未来へ～をスローガンに掲げ、一年間活動してまいります。近年自分自身であまり考える事をせず、発信されている情報の真偽に疑問を持たない、そんな人が多くいる様に感じております。自ら考える事をせず、その時が楽しければ良いという考えの根底には、無責任や無関心といった、利己主義的な考え方があって感じています。そんな現代社会において、私たちに青年会議所会員に出来る事は何か有るでしょうか。私たちは明るい豊かな社会の創造を目指し、奉仕・修練・友情の三信条のもと運動を行っている青年会議所だからこそ、今ある個々の力を集結し志をひとつに様々な問題点の解決法を真剣に議論を重ね、その上で対内対外へ強く発信し市民や地域社会の意識を変革する為の運動展開が必要だと考えます。JCしかない時代からJCもある時代になったと言われますが、そのような時代だからこそJCだから出来ることを議論し地域社会へ発信する必要があると思っております。何故なら私たち自身、自分の為や会社の為といった自己中心的な考え方が多い中から、青年会議所活動や運動を通して、徐々に地域社会の為、自分の周りの人の為を考え活動や運動をしています。すなわち利他の精神で行動できるように個人の意識が変わる団体・意識を変えられる団体は青年会議所しかないからです。

いつの時代も青年は青年らしく切磋琢磨しあい大竹青年会議所が大竹青年会議所であり続けるために、一人一人が高い志を持ち輝ける未来へ向けて一年間活動してまいりますのでよろしくお願い申し上げます。

新入会員挨拶



清原 俊臣

(きよはら としおみ)

1977年6月9日生まれ
勤務先：(有) 大竹市民葬祭
2016年度入会

私は、有限会社大竹市民葬祭に勤務しております。出生地は阿多田島で6歳まで過ごしました。その後、小方、現在は油見と38年間大竹市で暮らしております。趣味は釣り、野球観戦などですが、今一番の楽しみは息子のサッカーの試合観戦です。現在38歳で、JCでの活動期間は2年間と短いので、自分に出来る事を1日でも早く見つけ、日々精進してまいりたいと思います。先輩方にはご指導の程よろしくお願い致します。



田宮 佑一

(たみや ゆういち)

1981年10月11日生まれ
勤務先：(株) 田宮事務器
2016年度入会

私は現在株式会社田宮事務器で日々営業活動に励んでおります。地元の皆様のおかげさまで今年2016年3月創業64年という年月を迎えることになりました。日々の営業活動を通して地元で育った企業として地元大竹への恩返しのため、大竹を盛り上げていければと思います。今年是一年目ということで失敗を恐れずに持前の体力を活かして積極的に行事に参加し、経験を積み重ねたいと思います。ご迷惑をおかけすること多々あるかと思いますが、宜しくお願い致します。



河野 大輔

(このの だいすけ)

1983年3月22日生まれ
勤務先：(株) ゲイナンハウス
2016年度入会

私は大竹市立戸にごいます。株式会社ゲイナンハウスに勤めております。学生時代は、柔道を中学、高校、大学と続けてきました。座右の銘は、臥薪嘗胆。目的を達成するために、耐え忍ぶという意味です。まだ西も東もわからないもので、大竹市に生まれ育った恩を少しでもお返しできるように、尽力させて頂ければと思います。又、大竹市を元気で明るいまちにすることを目指し、大竹市を学び、大竹市に過ごして参りますので、何卒宜しくお願い申し上げます。



中野 友博

(なかの ともひろ)

1986年12月13日生まれ
勤務先：(有) 中野自動車
2016年度入会

私は現在大竹市立戸にあります有限会社中野自動車で自動車の钣金・塗装の仕事に励んでおります。大竹市の皆さまのおかげで今年創業43年を迎えようとしています。社会人になり大竹市に帰ってきては4年になりますが、私の仕事は、地域密着の仕事だと日々、実感しております。私は社会人として未熟な部分がありますが、これからJCの先輩方の背中を見ながら学び、少しでも大竹市が活性化するお手伝いができるよう、一所懸命頑張っていく所存です。ご迷惑をおかけすること多々あると思いますが、よろしくお願い致します。

委員会紹介



委員長

小山 剛司
(こやま ごうじ)

1979年4月30日生まれ
2011年入会

【委員会メンバー紹介】

副理事長 入山 剛之
委員長 小山 剛司
副委員長 網代木 秀太

まちづくり

社会開発委員会

我々は明るい社会の実現の為に活動しております。その中で我々会員の使命は、青年世代のオピニオンリーダーとして周囲を牽引し活動をしていくことだと考えます。今年度社会開発委員会では、自己の「地域社会における人と人とのコミュニケーション方法」を見つめ直し、学ぶことで、繋がりやの輪をさらに効果的に広げていき、より活発な活動を行うことが出来る様に活動していきます。そして、青少年育成事業として、同世代の同じ志を持った市民の方々に参画して頂き、他人の痛みが分かり、人の為に自ら行動できる優しい子どもに成長してもらえる様な事業も展開します。そのような我々の背中を子どもたちに見せていくことが明るい社会の実現に繋がると信じております。

社会開発部門は、大竹青年会議所が対外に向け活動を発信する大きな担いを持った部門だと思います。それゆえ、大きな責任と使命を持ってこの一年間を駆け抜けてまいります。どうぞご指導・ご鞭撻の程、宜しくお願い致します。

ひとづくり

未来開拓者育成委員会

近年の大竹青年会議所は、会員数の減少により会員一人にかかる負担が増加しており、少数精鋭とならざるを得ません。しかし、少人数ながらも十人十色の個性的な会員各々が、自分の経験・特技・技能を生かして活動に邁進し、多くの成果を上げてきました。

今後の会員の課題を考えるに、膨大な情報が渦巻き、未知の問題・課題を生み出し続ける現代社会の中で、社会を担う青年世代の代表としてリーダーシップを発揮していかなければなりません。その混沌とした中で、企業・組織内でのリーダーであり続ける為には、如何なる状況にも対応でき、解決への道を切り開く者。即ち、未来を開拓する者にならねばなりません。

私たち大竹青年会議所会員が、様々な困難に立ち向かい、新たな解決への道筋を開拓し、先駆けるリーダーとして各所で活躍していくために、本年は、問題対応の実践能力の育成に加え、モチベーションが高く、自らの成長に意欲的な会員育成に努めてまいります。また、新入会員に対しては、青年会議所への理解を促していくのは基より、今後、即戦力として、会内外でリーダーシップを発揮してもらえるよう導きます。

理事長のスローガン「熟慮断行」の通り、よくよく思いを巡らし、自らが見出した正しいと思える道を邁進し、問題解決に対応できる。そんな会員育成に取り組んでいく所存です。



委員長

日野 浩爾
(ひの こうじ)

1979年10月20日生まれ
2013年入会

【委員会メンバー紹介】

副理事長 藤野 広志
委員長 日野 浩爾
副委員長 廣田 吉則

2016年度上半期スケジュール

1月 7日	新年例会	4月 7日	例会
1月10日	大竹駅伝 協力	4月9・10日	新入会員セミナー
1月23・24日	京都会議（日本JIC）	5月 9日	例会
1月30日	新春会議（広島ブロック協議会）	5月 中旬	献血推進協議会 協力
1月 下旬	総会	6月2～5日	アジア・太平洋地域会議（JCI）
2月 6日	例会	6月 7日	例会
2月 下旬	青少年育成企画室 スタート	6月11・12日	ブロックアカデミー（主管：大竹）
3月 7日	例会	6月18日	地区コンファレンス（主管：岩国）

12月事業報告

納会 総務広報委員会

日時：12月7日（月）

場所：エスポワール大竹

最後の例会 日頃の感謝を伝え仲間の節目を祝う

大竹市長を初め、大竹市近郊でご活躍の各所団体の代表の皆様、シニアクラブ先輩の皆様にも多数ご出席を賜り、2015年度納会を、昨年度も盛大に開催することができました。

【納会】

我々大竹青年会議所会員にとって、一年間の活動の締めくくりの場として毎年開催され、活動にご協力をいただいた皆様をお招きし、感謝を申し上げる大切な機会となっています。2015年度の我々大竹青年会議所は、スローガン『不易流行』～夢と希望に満ち溢れた輝くJAYCEEを目指して～をテーマに掲げ一年間活動致しました。その為、本年度納会は不易流行を表す設え考え出すことから委員会一同で会議を重ね開催させていただきました。会員の事業目的として、一年間の集大成として、おもてなしのこころをもって感謝を伝えることに有り、会員以外の皆様には、大竹青年会議所の活動を知っていただき、感謝を伝えることに有りました。納会にご出席を賜りました皆様のみならず、昨年度の活動にご協力を頂きました総ての皆様に感謝致します。

【卒業式】

シニアクラブ会長 村井吉典先輩を初めとする大竹青年会議所シニアクラブの先輩方に多数ご出席をいただくなか、昨年度ご卒業を迎えた谷岡正和先輩、林和明先輩のご卒業を祝いました。日々、共に青年会議活動に情熱を捧げ励んできた仲間の卒業に際し、卒業生が築き上げてきた輝かしい功績の栄誉を称えたいという想いのもとで開催致しました。

谷岡正和君、林和明君、ご卒業おめでとうございます。

（2015年度総務広報委員会委員長 藤野広志）



通常総会

日時：12月28日（月）

場所：大竹商工会議所

新体制承認！ 想いを一つに

12月28日の12月通常総会にて、2016年度組織図及び事業予算について、可決して頂きました。一般社団法人大竹青年会議所は創立49年を迎え、その歴史と伝統を築いてこられた先輩諸兄に感謝すると共に、その重責に身の引き締まる思いです。しかし、この重責を全うすることを自己成長のチャンスと考えて行動していきます。

大竹の事を真剣に考え、人のため、地域のため、青年の柔軟な発想力と熱い想いをもち活動致します。更に、自らを持ち活発な議論を通じ内容をより昇華させるための会となるよう、明確な目的をもって効率化を図れるように努めて参ります。各委員会が行う例会や事業の成果を地域社会につなげ、会員一人一人が輝けるよう活動して参ります。

最後になりますが、「熟慮断行 ～一人一人が輝ける未来へ～」のスローガンのもと、会員全員が一枚岩となり、若者の熱い想いを伝播できるよう活動して参りますので、会員諸兄のご指導、ご鞭撻、そしてご協力を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

（専務理事 安森 友和）

会 員 募 集

私たちは、新たな仲間を求めています！

20歳から40歳までの貴重な年月、共に研鑽と成長を重ねる、友情の日々を歩みませんか？あなたの参加を会員一同、いつでも歓迎いたします！

【JC三信条】

1.個人の修練 2.社会への奉仕 3.世界との友情

青年会議所は活動の基本を「修練」「奉仕」「友情」におき、会員は「明るい豊かな社会を築き上げる」ことを共通の理想としています。また、会員相互の啓発と交流をはかり、公共心を養いながら、地域との協働により社会の発展に貢献することを目的としています。

【JC宣言】

日本の青年会議所は混沌という未知の可能性を切り拓き、個人の自立性と社会の公共性が生き生きと協和する確かな時代を築くために率先して行動することを宣言する。

【綱領】

われわれ JAYCEE は社会的・国家的・国際的な責任を自覚し志を同じうする者、相集い、力を合わせ青年としての英知と勇気と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げよう。